

Information

平成28年度放課後子ども総合対策事業実施のお知らせ

平成28年度4月から、放課後児童クラブ等が設置されていない小学校区(好藤・愛治・三島・泉)で、鬼北町放課後子ども総合対策事業を開始します。

これは、申請のあった児童が放課後を過ごすために公民館の空き室を提供するもので、児童たちは学校から各地区の公民館まで下校し、保護者のお迎えまでの時間を過ごすことになります。

なお、この事業の開始に伴い、保護者のお迎え時間となる18時までは公民館を開放することとな

りますが、その他の公民館業務につきましては、従来どおり8時30分から17時15分までとなりますので、ご了承ください。

地域住民の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますとともに、各公民館にお立ち寄り際には、子どもたちに声をかけていただきますよう、併せてご協力をお願いいたします。

問 役場 教育課 文化スポーツ係

Topics

「手を差しのべる」ことは「一つだけでも相手を知る」こと



2月14日、広見体育センターで「人権を考える集い兼鬼北町PTA研究大会」が開催されました。

戦場カメラマンの渡部陽一氏を講師に迎え、「世界からのメッセージ～平和と命の大切さ～」と題して行われた本講演。渡部さんは、身振り手振りを交え、時に声色を変えながら、自らが戦地などで撮影した写真を前に、戦争の悲惨さやさまざまな国の厳しい現状を語りかけました。また、何度も「戦争の犠牲者はいつも子どもたち」と繰り返し、戦地で生まれ育った子どもたちの声を、怒りを、悲しみを訴えていました。

「世界情勢を動かすのは「教育の力」と話す渡部さん。女の子の自由教育が認められず「勉強したい」との思いを口にするだけで命を狙われるような現実、日本のことを知りたがる子どもたちなど、「世界中の子どもたちの声を日本の子どもたちに届けること、そして日本の子どもたちの声を世界中の子どもたちに届けること、それが私の役目」と、戦場カメラマンとしての熱い思いを力強い口調で話していました。

来場者たちは終始、渡部さんの話にじっと耳を傾け、日本では考えられないような光景や話の内容に険しい表情を浮かべ息をのんでいた。

Topics

それぞれの願いをこめて…



2月21日、節安薬師堂=父野川上=で「節安花とび踊り」が奉納されました。

これは、安産、家内安全や地区の安泰を祈願して奉納されるもので、今年は18人が、願解き、安産祈願、授かり祈願の願いを込めて、節安薬師堂を参拝。その願いに応えるかのように、保存会会員たちが勇壮な踊りを披露しました。

Topics

人形劇で伝える大切なこと



東京都の「劇団すぎのこ」による「きほくの里人形劇」は2月21日、近永公民館講堂で行われました。

今年は、「わらしべ長者」の演目が披露され、まるで本物の人間が演じているかのような熱演に、子どもたちはどンドン物語の中に引き込まれていきました。